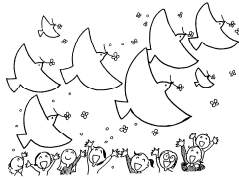


かながわく九条の会からのアピール

アジアの諸国民に2000万人を超える死者を出し、また、日本人の兵士・一般民衆310万人にのぼる死者を出したアジア太平洋戦争の反省のもとに、「政府の行為によって再び戦争の惨禍を起すことのないように決意し」て、日本国憲法は制定されました。

戦後、60年以上にわたり、日本が戦争によって他国の人たちの命を奪うことがなかったのは、憲法九条があったからです。



しかし、1950年の再軍備以降、「成長」を遂げた「自衛隊」は、憲法9条違反の状態をエスカレートさせ、2003年3月20日に始まったイラク戦争に際しては、事実上の戦地であるイラクに派遣されました。このような憲法と現実との明らかな矛盾に対して、改憲勢力はいよいよ明文での「改憲」を狙い、国会でも圧倒的多数を占めるに至りました。

このような憲法の危機的状況に直面して、2004年6月10日、井上ひさし、梅原猛、大江健三郎、奥平康弘、小田実、加藤周一、澤地久枝、鶴見俊輔、三木睦子の9氏による「九条の会」アピールが出されました。全国に広がった「九条の会」の活動など、改憲を阻止しようという運動により、世論調査では改憲に反対する世論が過半数になりました。しかし、2007年5月には、改憲手続き法が制定され、2010年には改憲手続きが可能になり、事態は急を要しています。



「九条の会」アピールに呼応して、この神奈川区でも「あおき九条の会」「あおぞら九条の会」「かながわ保育園職員九条の会」が結成され、神奈川区段階の「九条の会」設立をめざした活動が始まりました。

【かながわく九条の会発足までの経過】

- 2007/10/6 映画「日本の青空」上映会（約700人）
- 2008/2/8 第1回憲法学集会（講師；岡田尚氏）
- 2008/4/25 第2回憲法学集会（講師；伊藤真氏）
- 2008/7/21 被爆ピアノ平和コンサート

どの催しにも予想を上回る多数の参加者があり、準備会の1年余りの活動によって、「憲法九条を守る」活動に確信を持つことができました。



私たちは、今日ここに「かながわく九条の会」の設立を宣言します。そして、「九条の会アピール」に賛同し、「日本国憲法第9条を守ろう」という一点で一致するすべての人たちに参加を呼びかけます。

憲法9条改悪を阻止するために、多くの人たちが手をつなぎ、ここ神奈川区からも大きなうねりを作り出しましょう。当面、区内7中学校区で地域九条の会を結成し、有権者過半数の「憲法改悪反対」署名を集めることを目標に、地域、職場、学園で、一人ひとりが憲法を守るためにできることをはじめましょう。



2008年9月26日

「かながわく九条の会」発足集会